

平成26年度

田原市の予算(案)

主な取組

平成26年度当初予算 主な取組（重点施策別）

重点施策1 地域の安心安全の向上

取組名	事業概要	予算額 (千円)	新規 拡大 継続 の別	整理 番号
(1) 災害に備えたライフライン・都市基盤づくり				
① 建築物耐震化の推進	南海トラフ巨大地震の被害想定で、全壊・焼失1万棟を超えるとされる家屋損壊を防ぐため、無料耐震診断200件、耐震改修40件への補助、耐震改修促進計画の見直し等を実施。	78,049	継続	1
② 防災施設整備（道標プロジェクト）	全国消防職員意見発表会で、最優秀賞を受賞した本市消防職員の提案をもとに、災害発生時に市民や観光客でも簡単に分かる避難誘導表示などを設置する。	16,464	継続	2
③ 防災情報システム整備	災害時の確実な情報伝達手段を確保するため、防災行政無線更新（改修10局）。防災カメラシステムの無線化（無線化6ヶ所、カメラ増設1ヶ所）を実施。市HPから映像を提供。	97,176	拡充	3
④ 道路インフラ老朽化対策	道路インフラの総点検を実施し、インフラ長寿命化計画の策定に取り組む。	51,000	継続	4
⑤ 災害時要援護者医療情報を救急搬送時に活用	災害時要援護者の医療情報を消防通信室と共有。緊急搬送時の迅速かつ的確な処置に結びつける。	778	新規	5
(2) 誰もが、いつまでも地域で生活できるまちづくり				
① 医療と介護の連携推進	H30に国により義務化が予定される医療・介護連携への取組に先行着手。連絡会議の開催や「東三河ほいっぷネットワーク」への加入等による介護・医療情報の共有等を行う。	10,014	新規	6
② 地域福祉サポートシステム運営	日常生活でのほんのちょっとした困りごとを、地域の中で支援することにより、安心して生活ができる環境を整える。	6,486	継続	7
(3) 元気で長生きを目指す健康づくり				
① 検診の充実	子宮頸がん検診に新たな検査方式を導入し、検診の精度を向上させる（自己負担2千円）。高齢者における歯周疾患検診の対象年齢を拡大。	7,780	拡充	8
② 公的病院の高度医療機器整備を支援	公的病院が行う頭腹部血管撮影装置、生体情報監視システム整備への支援（事業費の2分の1を補助）	62,410	継続	9
③ 健康意識の向上	健康都市への取組の一環として、健康マイレージ事業（健康にいいことをした方にポイントを提供し貯まったポイントは記念品と交換。）を実施。	382	新規	10
(4) 安心して子どもを生み、育てられる環境づくり				
① 新保育園建設	老朽化が進む加治保育園と小規模化の影響が懸念される南部保育園を統合し、新保育園を建設。自然素材を活用した木造平屋建。地域子育て支援センターを併設。	522,559	継続	11
② 漆田保育園民営化開始	保育園運営を民間委託。民のノウハウにより質の高い保育を提供。（土曜保育3時まで延長。保育開始年齢引き下げ）	154,550	新規	12
③ 新給食センター稼働	PFI方式により新給食センターを運営。民間のノウハウを活用した質の高い給食サービスを提供する。	486,919	新規	13

重点施策2 ふるさと人材の育成

取組名	事業概要	予算額 (千円)	新規 拡大 継続 の別	整理 番号
(1) 担い手の育成				
① 若者のアイデア実現を支援	若者の地域参加のきっかけづくりとして、アイデア実現を支援する「市民活動チャレンジ支援補助金」を創設。(補助率1/2、上限10万円)	1,000	新規	14
② 野菜ソムリエ養成	ジュニア野菜ソムリエ講座(20人養成) 野菜ソムリエ資格取得の受講費用の1/2を補助 ソムリエによる野菜のPR活動も実施。	2,923	拡充	15
③ 中小事業者のチャレンジを支援	・事例研究、市場調査等に補助(補助率1/2 2,350千円) ・産・学・官に金融を加えた支援組織を創設し新商品・新サービス開発を支援する。	2,393	新規	16
④ 農業・水産業事業者のアイデア実現への支援	農業者を対象としていたアイデア実現への支援を水産業へ拡大。 農業アイデア支援事業(2000千円、補助率1/2) 水産アイデア支援事業(1000千円、補助率1/2)	3,000	拡充	17
⑤ 6次産業化・農商工連携の推進	6次産業化に取り組む事業者への講座開催、経費助成等。 前年の基礎コースに加えステップアップコースで実践的な検討。	5,860	拡充	18
(2) 子ども・若者の抱える問題の解決				
① 子ども・若者を支援する総合相談窓口の設置	子ども・若者支援地域協議会、子ども若者総合相談窓口を設置。不登校やひきこもり、ニートなどの問題を抱えた子ども・若者への自立支援体制を構築する。	3,065	新規	19
② 教育サポートセンターの充実	不登校児童生徒等へのきめ細かな相談・指導。カウンセラーなどを拡充。	26,436	拡充	20
(3) 子どもの個性をみがく学びの環境づくり				
① 夢の教室を開催	プロスポーツ選手等による体験講座。市内全ての小学校5年生に加え中学校2年生へも拡大。	5,816	拡充	21
② 生涯読書の推進	学校図書館運営・活用モデル校(2校)を指定し専任学校図書館司書を配置。 渥美図書館リニューアル。若者・高齢者が利用しやすく。 生涯読書活動推進計画策定。	21,638	新規	22
(4) 次の世代への田原市の歴史・文化の継承				
① 糟谷磯丸翁生誕250年記念事業支援	ふるさと学習の推進に資する記念事業へ支援。	3,000	新規	23

重点施策3 地域の活力創出

取組名	事業概要	予算額 (千円)	新規 拡大 継続 の別	整理 番号
(1) 地域ブランドの推進				
① 日本一花を贈るまちを目指す。	「日本一の花の生産地から、日本一花を贈るまちへ」。花のまちとしてのイメージアップと花を贈る習慣の普及を図る。「今月の渥美半島の花」普及啓発、新婚夫婦に花を贈る「アニバーサリーフラワーギフト」等実施	4,021	拡充	24
② JA新集出荷施設建設支援	JAが行うトマトメロン出荷場整備への支援（福江町片背山地区内。延床面積6900㎡。総事業費約20億円）	926,853	新規	25
③ シティセールスの推進	平成25年度に実施した調査・分析の結果に基づき、情報発信戦略や起爆剤となる先導事業を検討し、田原市シティセールス推進計画書を策定。	6,502	継続	26
④ 栽培漁業支援（あさり稚貝採取）	あさり漁獲量減少に対応するため増額。稚貝の採取・育成等の取組支援。	3,750	拡充	27
(2) 観光プロモーションの充実				
① 蔵王山展望台のリニューアル	臨海部メガソーラー稼動に伴う集客増に対応。利用者の便益施設、夜間照明等の整備。26年秋オープン。	136,000	継続	28
② 海浜性ピオトープの整備	東三河広域観光の拠点となる「デューンガーデン（仮称）」の整備（H25～H29の事業期間 総事業費261,200千円）。10月に観光エリア一部供用開始	13,419	継続	29
③ 伊良湖港周辺の観光基盤整備	緑地整備、道路植栽、伊良湖港整備による観光拠点整備。緑地は26年4月に一部供用開始予定。	39,110	継続	30
(3) 事業者の起業アイデア実現等への支援				
① 中小事業者のチャレンジを支援【再掲】	事例研究、市場調査等に補助（補助率1/2 2,350千円） 産・官・学に金融を加えた支援組織「地域ラウンドテーブル」を創設し新商品・新サービス開発を支援する	2,393	新規	16
② 農業・水産業事業者のアイデア実現への支援【再掲】	農業者を対象としていたアイデア実現への支援を水産業へ拡大。 農業アイデア支援事業（2000千円、補助率1/2） 水産アイデア支援事業（1000千円、補助率1/2）	3,000	新規	17
③ 6次産業化・農商工連携の推進【再掲】	6次産業化に取り組む事業者への講座開催、経費助成等。 前年の基礎コースに加えステップアップコースで実践的な検討。	5,860	継続	18
(4) 人口減少への対応				
① 市民の結婚活動（婚活）を応援	結婚を望む人を地域全体で応援する雰囲気や環境づくり。地域における結婚支援サポーターによる支援活動。婚活グループのネットワーク化等。	8,113	継続	31
(5) 新たな産業基盤の創出				
① 産学官連携の推進	臨海部から排出されるCO2の収集や貯留の可能性を検証。企業別の排出量と成分を分析し、農業に利活用する手法の基礎調査を実施。 あわせて東三河地域を中心に産学官連携による研究開発等を推進する櫛サイエンスクリエイト（愛知県、豊橋市等が出資）に参加し産学官連携の体制を強化。	3,500	新規	32

重点施策4 快適で賑わいのある市街地づくり

取組名	事業概要	予算額 (千円)	新規 拡大 継続 の別	整理 番号
(1) 賑わいのあるまちなかの創出				
① 中心市街地活性化の推進	まちなかイルミネーションの三河田原駅周辺への拡大、四季を感じられるイベント等の実施、中心市街地活性化基本構想の作成等	19,608	継続	33
② 福江地区まちづくりの推進	H27からの福江公園・散策路整備に向けH26は実施設計を行う。	9,436	継続	34
③ 中央公園整備	歩道橋設置、グラウンド整備・給排水整備、植栽整備	90,066	継続	35
④ 新市街地の整備	田原浦片土地区画整理組合支援。 浦片地区道路整備、公園実施設計。	212,502	継続	36
(2) 使いやすく適正な公共交通の仕組み構築				
① ぐるりんバス運行	ぐるりんバスの運行（8路線）、乗合タクシー運行補助（八王子線）	117,865	継続	37
(3) 田原市の自然を活かした美しい景観の形成				
① 景観ガイドライン策定	景観基本計画に基づくガイドライン策定。景観まちづくりの支援等。	12,104	継続	38

その他の主要事業

取組名	事業概要	予算額 (千円)	新規 拡大 継続 の別	整理 番号
① 少子化・防災に対応した和地小校舎改修	小規模校適正化と災害対応強化のため和地・伊良湖・堀切の3小学校を統合。現和地小校舎の増築・改修等。	66,905	新規	39
② 谷ノ口公園整備	三河湾国定公園内の豊かな自然の中で快適な野外レクリエーション活動を行える場所を提供するとともに、都市と農村の交流の場として地域の活性化を図る。 トイレ・シャワー棟建設、園地・駐車場整備。	51,325	継続	40
③ 初立池公園整備	老朽化した親水デッキの改修工事。	20,000	新規	41

取組名：建築物耐震化の推進

事業費78,049千円

新規・拡充・**継続**

■目的

耐震改修工事及び耐震化の支援を行うことにより、震災から市民の生命と財産を守る。

■事業概要

木造住宅無料耐震診断	200件
木造住宅耐震改修補助 (上乗せ補助 30万円 限度額160万円)	40件

耐震改修促進計画改定
耐震出前講座の開催



木造住宅耐震改修



小学校耐震出前講座

担当課： 建築課 電話：(0531)23-3526
メールアドレス：kentiku@city.tahara.aichi.jp

担当課： 防災対策課 電話：(0531)23-3548
メールアドレス：bousai@city.tahara.aichi.jp

取組名：防災施設整備(道標プロジェクト)

事業費16,464千円

新規・拡充(継続)

■目的

津波発生時に避難時間に余裕がない地域や観光地等を中心に「分かりやすい」津波避難看板等を設置。

迅速かつ確実に避難できる環境を整備する。

■事業概要

○避難誘導看板・啓発看板等整備
伊良湖岬周辺、太平洋沿岸で実施

○避難路整備

伊良湖岬(古山)：延長70m

※参考

- ・H25年度：伊良湖校区、堀切校区、赤羽根港周辺で実施
- ・H27年度：中心市街地、その他幹線道路沿いで実施予定



担当課：防災対策課 電話：0531-23-3548
メールアドレス：saigai@city.tahara.aichi.jp

取組名：防災情報システム整備

事業費97,176千円

新規・**拡充**・継続

■目的

地震・津波、風水害等の災害情報の収集及び市民への情報伝達を、迅速・確実かつ的確に実施するため、防災行政無線の更新、防災カメラシステムの多重化（無線化）を図る。

■事業概要

○防災行政無線の更新(64,368千円)
屋外子局改修整備：10局

○防災カメラシステムの無線化
(32,808千円)
無線化整備：6か所
(蔵王山、赤羽根漁港等)
カメラ増設：1か所

※H26年度はシステムの無線化を重点的に実施し、H27年度にカメラの増設を予定(数か所)

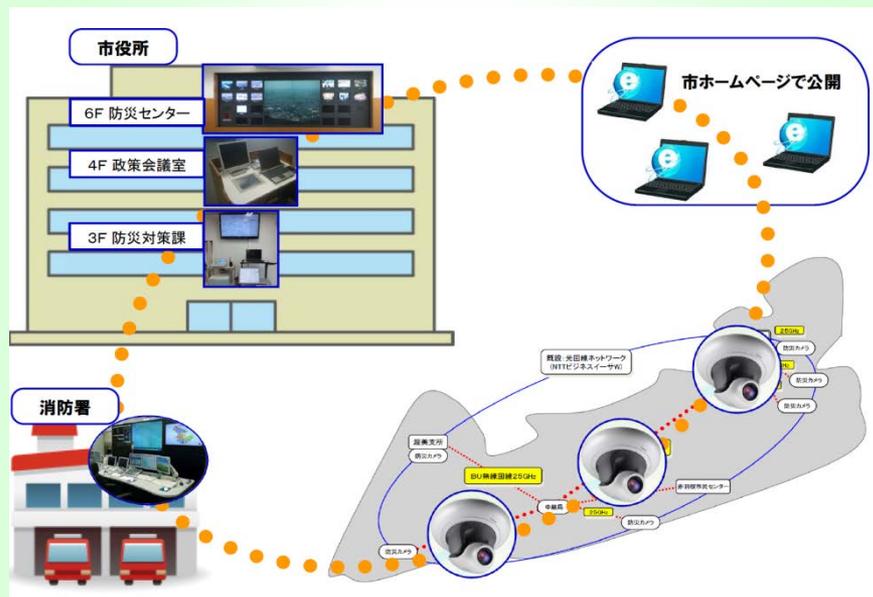
■防災無線更新整備

- (H22年度～H25年度の実績(見込み。))
- ・津波用子局(回転灯付):全36局のうち13局
 - ・広域型子局:3局
 - ・子局改修:改修予定102局の内76局



■防災カメラシステムの無線化

- ・既設光ケーブルネットワークに加え、無線によるインフラを整備(5GHz、25GHz)
- ・市ホームページから映像を提供



担当課:防災対策課 電話:0531-23-3548
メールアドレス:saigai@city.tahara.aichi.jp

取組名：道路インフラ老朽化対策

事業費 51,000千円 新規・拡充・**継続**

■ 目的

国民生活や経済の基盤であるインフラの機能が的確に維持されるように点検・調査を行い、維持管理・更新に係る本格的なPDCAサイクルの構築を図る。

■ 事業概要

- トンネル、舗装、照明灯、橋梁、横断歩道橋等、道路インフラの点検
- インフラ長寿命化計画の策定



担当課：土木課 電話：(0531)23-3520
メールアドレス：doboku@city.tahara.aichi.jp

取組名： 災害時要援護者医療情報を救急搬送時に活用

事業費778千円

新規・拡充・継続

■目的

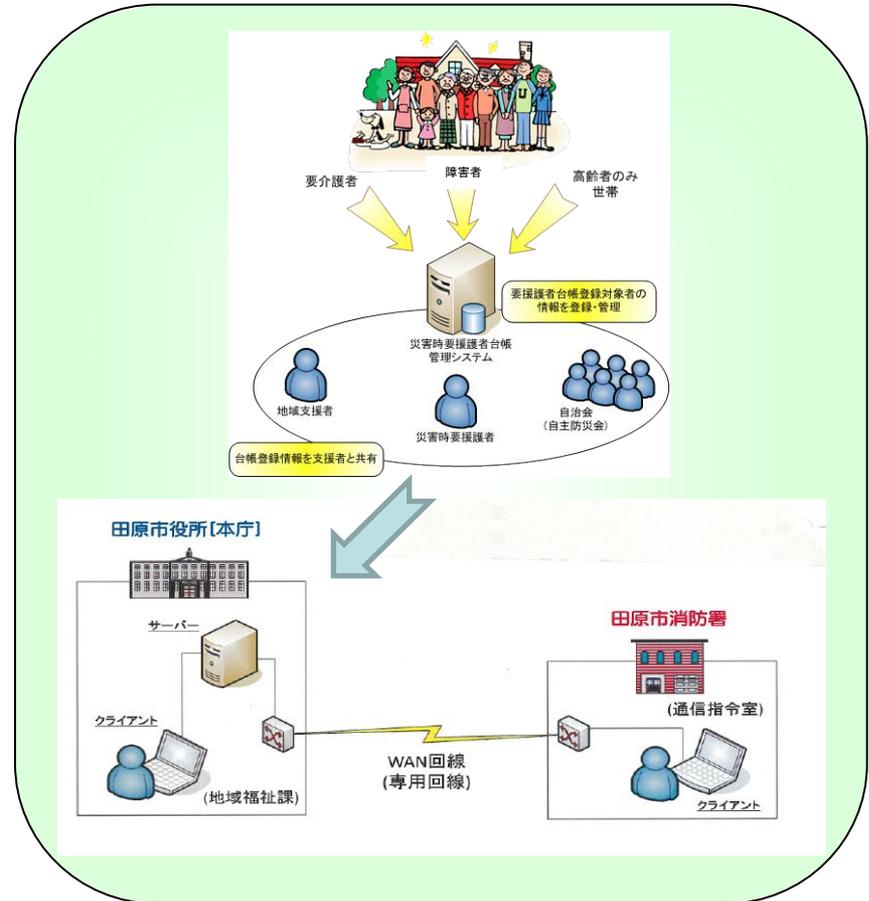
国の「災害時要援護者支援ガイドライン」に沿って登録した災害時要援護者の医療情報を消防通信室と共有し、救急搬送時の迅速かつ適確な処置に結びつける。

■効果

疾病名、常飲薬、かかりつけ医、透析やアレルギー、ペースメーカーの有無等を救急搬送時に把握できる。

■事業概要

平成26年度にシステム連携構築



担当課：地域福祉課 電話：0531-23-3512
メールアドレス：fukushi@city.tahara.aichi.jp

取組名： 医療と介護の連携推進

事業費 10,014千円

新規・**拡充**・継続

■ 目的

高齢者の地域での生活を支援するため、医療と介護の連携を促進し、一体的に提供可能な体制の構築を目指す。

■ 事業概要

愛知県補助事業の採択を受け、平成30年度の義務化に先駆けて、次の取り組みにより、連携の土台を築く。

- ①顔の見える関係の構築
- ②情報共有ツールの活用促進
- ③普及啓発活動等

■ 国の動向

国民の60%以上が自宅での療養を望んでいる状況を背景として、平成30年度に、医療と介護の連携を義務化することとしている。

①顔の見える関係の構築

相談したい
情報が欲しい
⇒垣根が...

推進協議会
担当者会議
研修会 等

医師

歯科医

薬剤師

市

介護職

②情報共有ツールの活用促進

東三河ほいっぷネットワーク
(文書・画像閲覧、メール投稿等)

○様子がおかしい
◆服薬は順調です

●すぐに病院へ
◇退院後の様子は？

市

介護職

医師

③普及啓発活動等

- ・医療や介護資源の情報提供
- ・講座の開催、パンフレットの配布
- ・寝たきり高齢者の訪問歯科検診

担当課： 高齢福祉課 電話：0531-23-4654
メールアドレス：koureifukushi@city.tahara.aichi.jp

取組名： 地域福祉サポートシステム運営

事業費 6,486千円

新規・拡充・**継続**

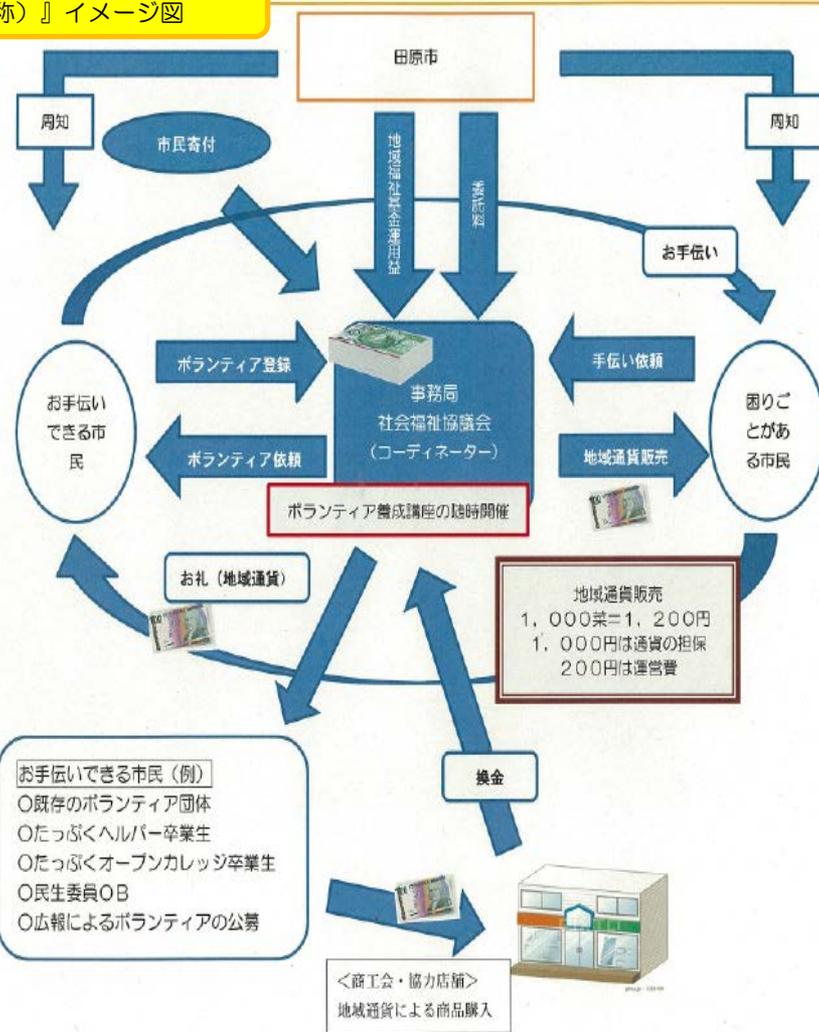
■目的

日常生活でのほんのちょっとした困りごとを、地域の中で支援することにより、安心して生活ができる環境を整える。

■事業概要

- 『生活ささえあいネット(仮称)』の運営開始。
- 事務局を田原市社会福祉協議会に委託する。
- お手伝いのコーディネート、ボランティア登録及び養成講座、地域通貨の販売を行なう。
- 地域福祉サポートシステムを広く市民に周知するため、地域への制度説明を行なう。
- 地域通貨利用協力店舗の開拓を行なう。

『生活ささえあいネット(仮称)』イメージ図



担当課：地域福祉課 電話：0531-23-3512
メールアドレス：fukushi@city.tahara.aichi.jp

取組名： 検診の充実

事業費 7,780千円 新規・拡充・継続

子宮頸がん検診

■ 目的

子宮頸がん検診にHPV検査を導入し、検診の精度を向上させる。

■ 事業概要

子宮頸がん検診の精度向上：
希望する対象者にHPV検査を実施
(自己負担額:2,000円)

※ HPV検査

HPV(ヒトパピローマウイルス。子宮頸がんの原因となるウイルス)を検出する検査。従来の細胞診との併用により、前がん病変(がんの前の段階)の発見率を上げることができる。

歯周疾患検診

■ 目的

歯周疾患検診の対象者を拡大し、高齢者の歯科口腔保健の充実を図る。

■ 事業概要

歯周疾患検診の対象者拡大：
75歳、80歳を追加



担当課:健康課

電話:0531-23-3515

メールアドレス:kenko@city.tahara.aichi.jp

取組名：公的病院の高度医療機器整備 を支援

事業費62,410千円

新規・拡充・継続

■目的

公的病院が行う高度医療機器整備
に対し支援を行い、市民の医療ニーズ
に応え、質の高い地域医療の維持を
図る。

■事業概要

公的病院が血管撮影装置(頭腹部
DSA)及び生体情報監視システムの
更新をする費用の1/2を補助する。

血管撮影装置(頭腹部DSA)



生体情報監視システム



担当課：健康課

電話：0531-23-3515

メールアドレス：kenko@city.tahara.aichi.jp

取組名： 健康意識の向上

事業費 382千円

新規・拡充・継続

■目的

健康都市連合への加盟を機に、市民が主体的に健康づくりに参加し、心身ともに健康になること、田原市全体の健康機運を高めることを目指す。

■事業概要

健康づくりのための目標達成や各種健診(検診)の受診、健康関連事業への参加など健康にいいことをした方にポイントを提供。貯まったポイントは記念品と交換できる。

あわせて県のマイレージ事業と連携し県内の協力店で優待サービスが受けられる優待カードを配布する。

《事業の流れ》

健康づくりの目標を達成して
獲得したポイント

+

健診(検診)を受診して
獲得したポイント

+

イベント・講座に参加して
獲得したポイント

||

ポイントが貯まったら

・記念品
・県の優待カード

担当課：健康課

電話：0531-23-3515

メールアドレス：kenko@city.tahara.aichi.jp

取組名：新保育園建設

事業費 522,559千円

新規・拡充 **継続**

■目的

保育所配置適正化の取組みとして、市内で最も園児数が少ない南部保育園の小規模園の解消と近隣の加治保育園園舎の建替え時期とを合わせて、両保育園を統合して新保育園を建設する。

■セールスポイント

自然素材を活用し、園舎の構造は木造平屋建とする。

地域子育て支援センターを併設。

■事業概要

新保育園の建設。入所定員 150人

建築面積 1,555m²

■新保育園名称

稲場保育園(いなばほいくえん)



担当課：子育て支援課 電話：0531-23-3513
メールアドレス：jidou@city.tahara.aichi.jp

取組名：漆田保育園民営化開始

事業費154,550千円 **新規**・拡充・継続

■目的

民間のノウハウを活用し、多様な保育サービスの提供や保護者の選択肢の拡大、限られた財源や人材の効率的活用による保育の充実を図る。

■事業概要

民営化した漆田保育園を社会福祉法人豊橋みなみ福祉会が運営する。
本市として初の取組となる。

■民営化の主なメリット

- 保育開始年齢の引き下げ
現在：生後10ヶ月⇒生後概ね6か月
- 土曜日保育
現在：午後0時30分終了
⇒終了時間を午後3時に延長

漆田保育園



担当課：子育て支援課 電話：0531-23-3513
メールアドレス：jidou@city.tahara.aichi.jp

(上:新給食センター全景、下:最新の調理設備)

取組名: 新給食センター稼働

事業費486,919千円

新規・拡充・継続

■目的

PFI方式により民間のノウハウを活用した新給食センターを設置・運営することで、市内の小中学校、保育園、幼稚園に質の高い給食サービスを提供する。

■施設概要

- 最大 1日当たり9,000食
- 国内最大級の完全オール電化システム炊飯を実施
- 給食センターとして国内最大級の太陽光発電(50kW)設置

■提供サービス

- 見学会、試食会等開催による食育推進
- 地元食材の利用推進
- バイキング給食・セレクト給食等多彩な給食の提供



担当課:給食センター 電話:0531-22-2700
メールアドレス:kyusyoku@city.tahara.aichi.jp

取組名：若者のアイデア実現を支援

事業費1,000千円 **新規**・拡充・継続

■目的

市民活動の裾野拡大や地域活性化を目指し、若者の「アイデア実現」を支援する。「仲間と協力する活動経験」で、地域参加等のきっかけづくりを図る。

■対象団体

・おおむね18～40歳の青年層で構成

■対象事業

・地域活性化につながる「新たな取組」「ステップアップ事業」「地域活動」等

■補助内容

・補助率1/2(上限10万円)

※同一事業1回限り



■例えばこんなアイデアの実現に！

- ◇「街コン」「婚活イベント」の企画
- ◇伝統芸能の復活(祭りの会等)
- ◇オリジナル観光マップの制作
- ◇地域ベースの女性サロンの開催
- ◇地域特色を活かしたグッズの企画
- ◇スポーツイベントの企画 などなど

担当課：市民協働課 電話：0531-23-3504
メールアドレス：kyoudou@city.tahara.aichi.jp

取組名：野菜ソムリエ養成

事業費2,923千円

新規 **拡充** 継続

■目的

- 野菜ソムリエを養成・組織化し、行政・生産者・販売者等と連携しながら、渥美半島の青果物の美味しさ・品質・栄養・レシピ・安全性等をPR。
- 青果物や農業への関心を高め、市のイメージアップや地域ブランド力の強化を図る。

■事業概要

- ジュニア野菜ソムリエ講座開催
対象 20名
- 野菜ソムリエ育成補助
対象 5名
⇒「ジュニア野菜ソムリエ」よりも上位の資格である「野菜ソムリエ」資格の取得者に対し、受講費用の1/2以内を補助。



・渥美半島の野菜を消費者に伝える活動(イメージ)



・市民に対する食育の普及啓発活動

担当課： 農政課 電話：0531-23-3517
メールアドレス：nosei@city.tahara.aichi.jp

取組名：中小事業者のチャレンジを支援

事業費 2,393千円

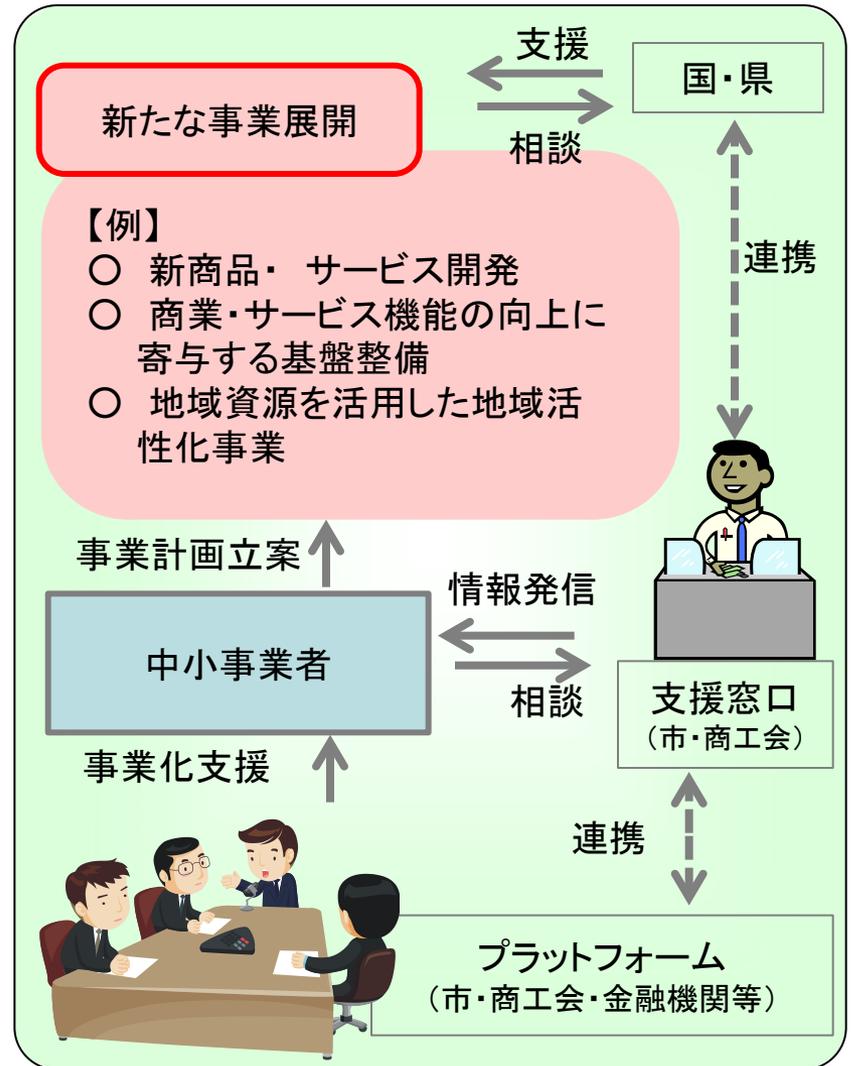
新規・拡充・継続

■目的

中小事業者を含む団体が行う新たな事業展開の計画立案を支援し、地域産業の振興を図る。

■事業概要

- 計画推進を支援するプラットフォームの構築
商工会、地域の金融機関等との連携により、中小事業者の事業支援体制を構築
- 初期導入補助制度の創設
事業者が事業計画を立案する際に必要な先進事例視察、マーケティング調査、専門アドバイザー招へい等を支援
- 中小事業者支援窓口の機能向上
市・商工会が連携し、国等の支援制度の情報提供など相談窓口の機能の向上を図る



担当課：商工観光課 電話：0531-23-3522
メールアドレス：syoko@city.tahara.aichi.jp

取組名：農業・水産業事業者のアイデア実現への支援

事業費3,000千円

新規 **拡充** 継続

■目的

農業者・漁業者の団体が、地域の農業・漁業の課題解決や活性化を目的として実施する独創的かつ効果的な取組に対して支援を行う(平成26年度から漁業者を新たに対象に加える)。

■事業概要

○補助対象者

田原市内に住所を有し、農業・漁業に携わる者が3名以上で組織する団体

○対象事業

団体が提案する農業・漁業における活動上の改善施策の取組で、地域農水産業に寄与すると認められるもの

○補助率

事業にかかる経費の1/2以内
(上限100万円)

対象事業の例

- 作業軽減・経費削減の工夫
- 農水産物のPR活動
- 新たな水産物の養殖実験



担当課：農政課 電話：0531-23-3517
メールアドレス：nosei@city.tahara.aichi.jp

取組名：6次産業化・農商工連携の推進

事業費5,860千円

新規・**拡充**・継続

■目的

6次産業化・農商工連携を積極的に推進することで、市内で生産される農畜水産物等を活用した新産業や雇用機会を創出し、地域産業の活性化を図る。

■事業概要

①6次産業化・農商工連携起業塾

H25年度から実施している基礎講座に加え、新たに具体的な事業化を支援する「ステップアップ講座」を実施。

②事業モデル構築補助

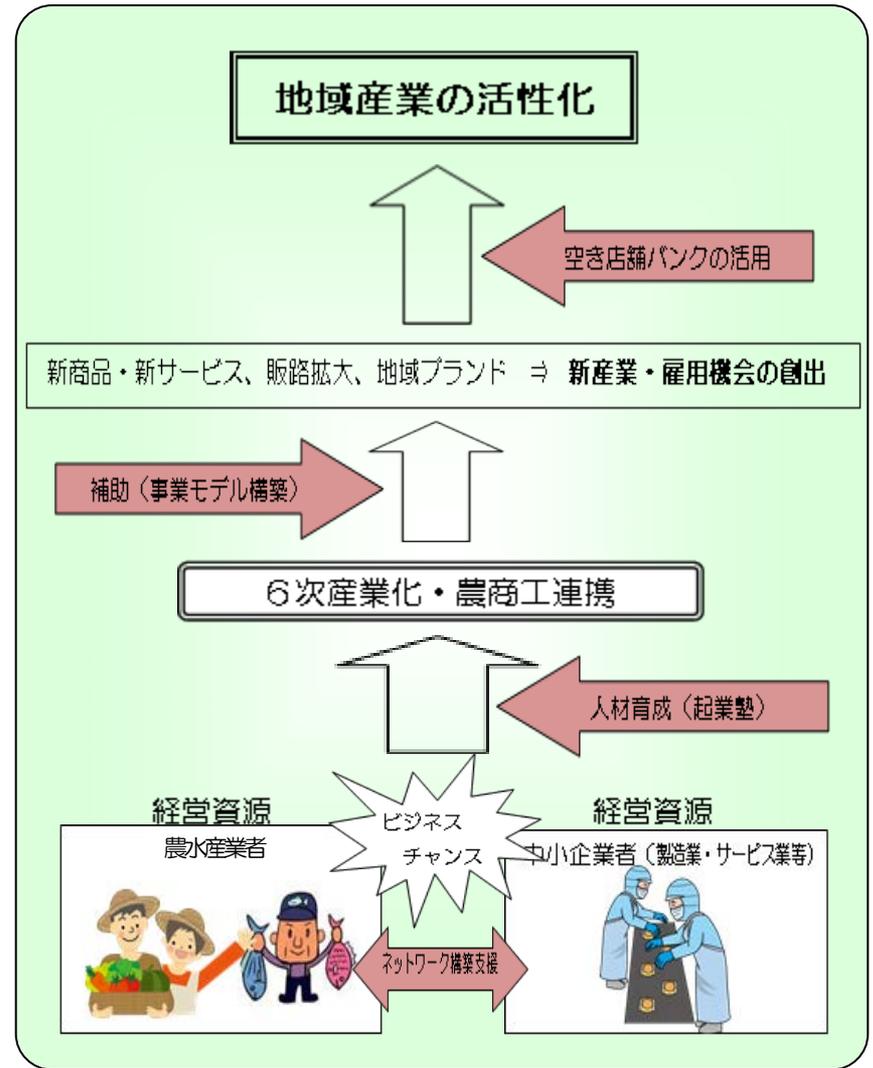
市内の農畜産物等を活用した事業プランに対し、必要な経費の一部を助成。

③農商工業者ネットワーク構築支援

目的に賛同する会員で構成されたネットワークを支援。

④空き店舗バンク

市内の空き店舗を活用して、新たに商売を営もうとする者等を支援。



担当課：商工観光課 電話：0531-23-3522

メールアドレス：syoko@city.tahara.aichi.jp

取組名: 子ども・若者を支援する 相談窓口の設置

事業費3,065千円

新規・拡充・継続

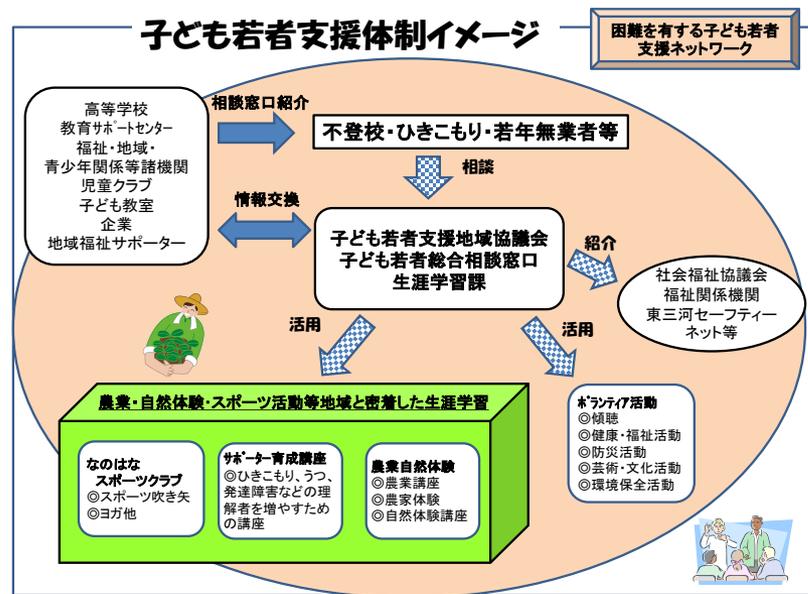
■目的

市民、学校、福祉関係機関、企業等との連携を密にし、不登校やひきこもりニートなどの問題を抱えた子ども・若者の自立支援体制を構築する。

■事業概要

- 不登校・ひきこもり・若年無職者等に関連する相談窓口として、「子ども・若者支援地域協議会」及び、「青少年の総合相談窓口」を設置する。
- 地域及び職域において若者を支援するための「サポーター」養成等を行う。

子ども若者支援体制イメージ



子ども・若者支援のための講習会の様子

担当課:生涯学習課 電話:0531-23-3531
メールアドレス: syogaku@city.tahara.aichi.jp

取組名：教育サポートセンターの充実

事業費 26,436千円 新規・拡充・継続

■目的

不登校児童生徒、悩みをかかえた児童生徒に対し、きめ細やかな相談や指導を行うとともに、校内の生活支援や個別指導などの教育活動を支援する。

■事業概要

教育相談員の巡回学校訪問を増やし学校現場に応じた支援を行う。

適応指導教室運営員を加配し、継続的な支援の充実を図る。

カウンセラーの勤務時間を増やし、専門的な相談活動を充実する。

学校教育課長

教育サポートセンター（赤羽根市民センター内）

相談グループ

- ・児童生徒教育相談員（3人）
- ・適応指導教室運営員（2人）
- ・カウンセラー（3人）
- ・メンタルフレンド（3人）
- ・教育活動コーディネーター（2人）
- ・学校教育課生徒指導担当主事
- ・学校教育課特別支援担当主事

研修グループ

- ・学校経営相談員（1人）
- ・学校教育課研修担当主事
- ・学校教育課研究委嘱担当主事

共育グループ

- ・共育コーディネーター（1人）
- ・学校教育課副主幹
- ・生涯学習課

担当課：学校教育課 電話：0531-23-3679
メールアドレス：gkyou@city.tahara.aichi.jp

取組名：夢の教室を開催

事業費5,816千円

新規・拡充・継続

■目的

子どもたちに、夢や目標をもつことや仲間の大切さに気づかせ、困難を乗り越えられるたくましい心を育て、生き方を考える場を設定する。

■事業概要

プロスポーツ選手等を市内全小学校5年生、全中学校2年生のクラスに派遣し、生き方についての体験講座を行う。

イメージ



夢先生と「仲間と協力する活動」をしました。
～体験活動～



夢先生の目標としてきたことや困難を乗り越えてきた話を聞きました。
～トークの時間～

担当課：学校教育課 電話：0531-23-3679
メールアドレス：gkyou@city.tahara.aichi.jp

取組名：生涯読書の推進

事業費21,638千円

新規・拡充・継続

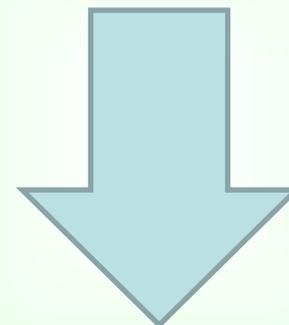
■目的

読書環境を整備し、市民の生涯にわたる読書活動を推進する

■事業概要

- 1 学校図書館運営・活用研究モデル校(小・中各1校)を指定し専任学校図書館司書各1名を配置
- 2 渥美図書館のリニューアル
- 3 生涯読書活動推進計画の策定

第2次子ども読書活動推進計画(平成22-26)



(仮称)生涯読書活動推進計画(平成27-)

担当課:学校教育課 電話:0531-23-3679
図書館 電話:0531-23-4946
メールアドレス:学校教育課 gkyou@city.tahara.aichi.jp
図書館 tosho@city.tahara.aichi.jp

取組名：糟谷磯丸翁生誕250年記念事業支援

事業費 3,000千円

新規・**拡充**・継続

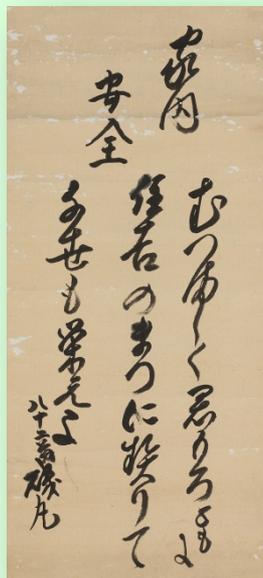
■目的

漁夫歌人として知られる糟谷磯丸は、平成26(2014)年に生誕250年を迎える。糟谷磯丸顕彰会では、糟谷磯丸翁生誕250年記念事業実行委員会を設置し、翁の業績等を後世に伝えるため、記念式典や各種事業を実施する。

本市は、教育振興基本計画に掲げるふるさと学習の推進と先人に学ぶ理念に沿って、記念事業を支援する。

■事業内容

記念行事：式典・講演会ほか
「漁夫歌人糟谷磯丸」資料全戸配布、
小学生向け資料の刊行、磯丸劇上演、
磯丸の歌の作成及び普及促進等



家内安全歌(まじない歌) 糟谷磯丸肖像 個人蔵

糟谷磯丸(かすや いそまる)

明和元(1764)年、伊良湖村に生まれる。

生涯に数万首の歌を詠んだとされ、「まじない歌」は多くの人々の願いや困りごとなどが歌にされたもの。磯丸が詠んだ歌を石碑や掛軸にしておくと効果があったとされる。嘉永元(1848)年、85歳で没。その死後は「磯丸霊神」となり、現在は伊良湖神社境内に祀られている。

担当課：文化財課(博物館) 電話：0531-22-1720
メールアドレス：museum@city.tahara.aichi.jp

取組名：「日本一花を贈るまち」を目指す

事業費4,021千円

新規 **拡充**・継続

■目的

「日本一の花の生産地から、日本一花を贈るまちへ」をスローガンに、花のまち田原市のイメージアップを図り、花を贈る行為の普及・啓発のための取り組みを行う。

■事業概要

- 「アニバーサリーフラワーギフト」(新婚夫婦に祝福の花を贈呈)
- 「今月の渥美半島の花」普及啓発
- 「花を贈る日」普及啓発
- 「ビクトリーブーケ」を各種大会に提供
- 花育教室の充実



花束、アレンジフラワー、鉢物いずれかを新婚夫婦にプレゼント(アニバーサリーフラワーギフト)



花に関する伝統と文化の継承

担当課：農政課 電話：0531-23-3517
メールアドレス：nosei@city.tahara.aichi.jp

取組名：JA新集出荷施設建設支援

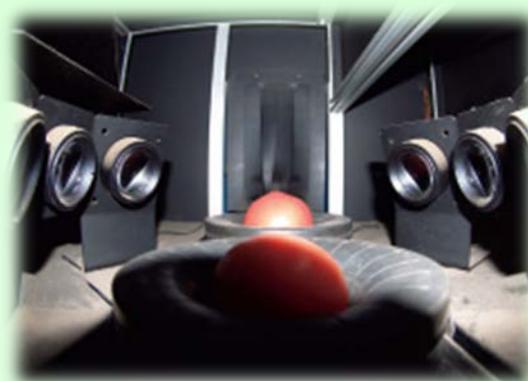
補助事業費926,853千円 **新規**・拡充・継続

■目的

JA愛知みなみによる、最新鋭の選果設備を導入した新たなトマト・メロンの集出荷施設の建設を支援することにより、コストの削減、トレサビリティへの対応強化、出荷物の均一化を図ることで、地域競争力を高め、産地振興と農家の経営安定に寄与する。

■事業概要

- 事業実施主体
愛知みなみ農業協同組合
- 集出荷施設(福江町片背山地内)
建屋 延床面積 約6,900m²
選果設備 一式
施設内フォークリフト 4台
- 総事業費 約2,005百万円



瞬時にトマトの糖度を測定



選果ラインイメージ

担当課：農政課 電話：0531-23-3517
メールアドレス：nosei@city.tahara.aichi.jp

取組名：シティセールスの推進

事業費 6,502千円

新規・拡充・**継続**

■目的

本市の地域資源の魅力の向上と、効果的な宣伝を図り、本市の認知を高め、定住・交流等の機会の拡大や地域製品の販売促進などまちの活力の維持・向上を目指す。

さらに市民が地域の魅力を再認識し、ふるさとに対する「誇り」と「愛着」の意識の向上を図る。

■事業概要

- 平成25年度に実施した調査・分析の結果に基づき、情報発信戦略や起爆剤となる先導事業を検討し、田原市シティセールス推進計画書を策定。
- ふるさと大使を通じて、本市の魅力や情報を全国に発信する。

渥美半島「田原市」の魅力を発信します！



田原市ふるさと大使

渥美半島応援大使



佐藤敏信

渥美半島応援大使



白井文吾

渥美半島夢大使



太田 剣

渥美半島夢大使



尾川とも子

渥美半島夢大使



小川泰弘

渥美半島夢大使



金子大樹

渥美半島元気大使



金田 哲

担当課：政策推進課 電話：0531-23-3507
メールアドレス：seisaku@city.tahara.aichi.jp

取組名：栽培漁業支援（あさり稚貝採取）

事業費3,750千円

新規・**拡充**・継続

■目的

「獲る漁業」から「育てる漁業」へ転換する取組を支援することにより、漁獲量の安定と漁業者の所得の向上を図るとともに、水産物の安定的な供給を目指す。

■事業概要

○漁業者の組織する団体が、あさりの稚貝が豊富に発生する豊川河口から稚貝を採取し、市内の各漁場に放流するために必要な経費に対する助成を行う。

○補助率 25円／稚貝1kgあたり

○平成26年度は、あさりの漁獲量の減に対応するための事業量増が見込まれることから、予算枠を前年の1.5倍に増額。



・あさり稚貝採取



・あさり稚貝放流

担当課：農政課 電話：0531-23-3517
メールアドレス：nosei@city.tahara.aichi.jp

取組名：蔵王山展望台のリニューアル

事業費136,000千円 新規・拡充・**継続**

■目的

本市の観光の拠点である蔵王山展望台の魅力を高め、利用者の利便の向上を図るため、展望台施設のリニューアルを行う。

■事業概要

- 臨海部メガソーラー稼動を契機に、環境学習等の需要増加が見込まれるため、再生可能エネルギーなどエコガーデンシティ構想の取組を紹介
- 渥美半島全体への誘客へ結びつけるため観光情報発信機能を向上
- 売店、トイレ等、利用者の便益施設、夜間照明設備等の整備
- 平成26年秋 供用開始予定

改修計画のコンセプト

施設全体を統一したテーマのもとに再構築し、展望という一番の魅力を高めることで集客力のある施設へと転換する。

「田原市をめぐる多様なツアーの拠点施設」
「再生可能エネルギーのシンボル施設」

「渥美半島全体の観光案内のビジターセンター施設」
「昼夜半島を見渡せる展望が魅力の目的型観光施設」



担当課：商工観光課 電話：0531-23-3522
メールアドレス：syoko@city.tahara.aichi.jp

取組名：海浜性ビオトープの整備

事業費13,419千円 新規・拡充・**継続**

■目的

日本初となる「砂丘とオアシス(湧水)の再生」により、生態系ネットワークの拠点、東三河広域観光の拠点となる「デューンガーデン(仮称)」の整備促進を図る。

■事業概要

- 事業主体 愛知県
- 事業期間 平成25年度～29年度
- 施行地 休暇村伊良湖周辺
- 全体面積 約5ha
- 平成26年度10月に愛知県で開催される「ESDに関するユネスコ世界会議」に合わせ、観光エリアの一部を供用開始予定。



観光エリア (H25～H27)

・砂丘に生育する植物を観光客が鑑賞するエリア

希少種エリア (H27～H29)

・希少な海浜性植物の展示・保全等を目的とするエリア

トラストエリア

・NPO・学校・企業などの環境活動や環境学習に活用するエリア

担当課：商工観光課 電話：0531-23-3522
メールアドレス：syoko@city.tahara.aichi.jp

取組名：伊良湖港周辺の観光基盤整備

事業費 39,110千円 新規・拡充・**継続**

■目的

伊良湖港において、観光交流拠点および海洋レクリエーション拠点を形成することで交流人口の拡大を図る。更に伊良湖港とその周辺に点在する観光施設等との連携・回遊性を強化し、地域の集客力および活力を取り戻すことを目標とする。

■事業概要

緑地整備

道路植栽

伊良湖港整備(県)



■今後の予定

緑地整備・道路植栽：平成26年度完了
緑地：平成26年4月部分供用開始予定

緑地完成予想図



担当課：土木課 電話：0531-23-3521
メールアドレス：doboku@city.tahara.aichi.jp

取組名： 市民の結婚活動(婚活)を応援

事業費 8,113千円 新規・拡充(継続)

■目的

地域全体で結婚を望む人達を応援する雰囲気や環境をつくとともに、情報交換や交流の機会を増やすことにより、一組でも多くのカップルが成婚することを目指し、地域の後継者問題の解消や少子高齢化への対応を図る。

■事業概要

○結婚支援サポーターの募集

地域や職場の有志によるサポーターを募集。情報交換や、働きかけをお願いすることにより婚活の活性化を図る。

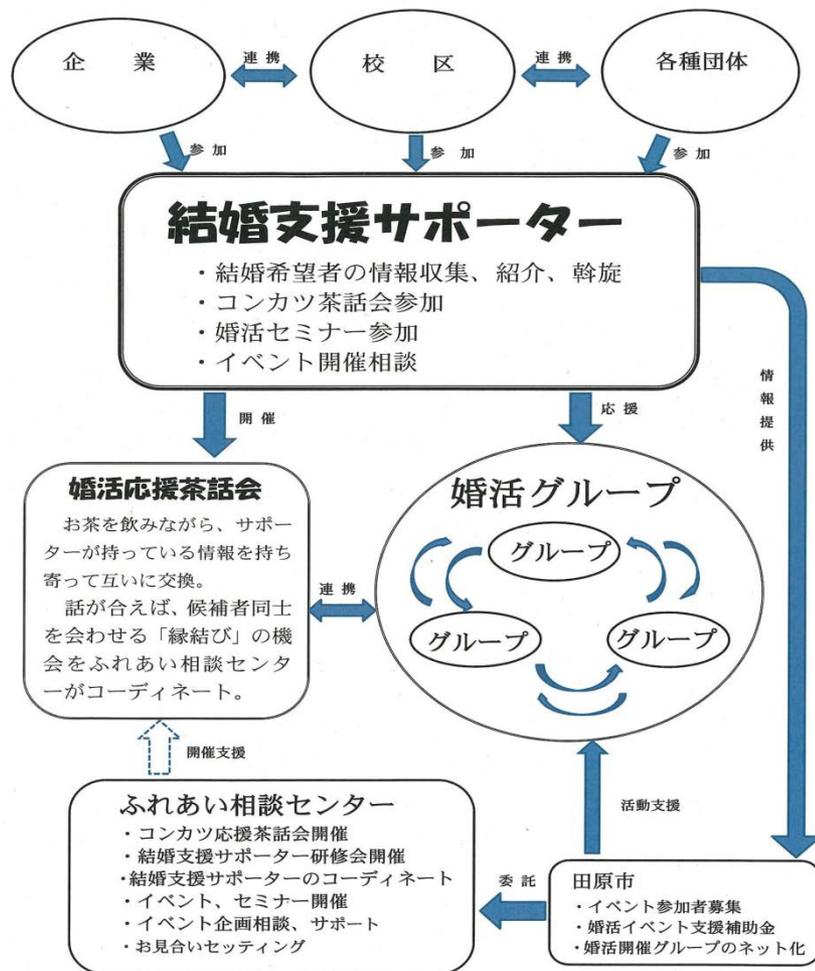
○「縁結びネットワーク(仮称)」の発足

結婚希望者による婚活グループを含め、地域で婚活に関わっている人全体のネットワークをつくり、互いに情報交換等を行う。

○「婚活支援事業補助金」の見直し

より多くの事業が実施できるよう、上限額を5万円から10万円へ増額する。

縁結びネットワーク



担当課: 地域福祉課 電話: 0531-23-3512
メールアドレス: fukushi@city.tahara.aichi.jp

取組名：産学官連携の推進

事業費3,500千円

新規・拡充・継続

■目的

大学や研究機関と連携し、生産活動により発生する二酸化炭素を農業分野で利活用する仕組みを研究する。

■事業概要

①臨海部から排出されるCO₂の実態調査

CO₂が排出される作業工程等を現地調査し、収集や貯留の可能性を検証する。

②CO₂排出量、質の把握と分析調査

企業別の排出量と成分を分析し、農業に利活用する精製、分離手法の基礎調査を行う。

③連携の強化

東三河を中心に産学官連携による研究開発や事業推進、異業種連携等を推進する(株)サイエンスクリエイト(愛知県、豊橋市等が出資)に参加し、産学官連携の体制を強化する。

【事業推進手段】

田原市
農工圏融合システム(CO₂・冷熱利活用)実証プロジェクト

コンサルタント

田原臨海部CO₂排出調査

大学
担当：CO₂H生成分離

連携協力

産業技術総合研究所

持続的な産業基盤の形成

- ・工業圏のCO₂を農業圏で利活用し農業経費のコスト削減と収益性に努める。
- ・CO₂による農産物の長期保存の技術開発に努める。

担当課：政策推進課 電話：0531-23-3507
メールアドレス：seisaku@city.tahara.aichi.jp

取組名： 中心市街地活性化の推進

事業費19,608千円 新規・拡充・**継続**

■目的

- 地域住民の街に対する愛着の高まりや来街者等へのおもてなしの心を育む。
- 本市の顔としてふさわしい魅力あふれるまちづくりを推進し、中心市街地の活性化を図る。

■事業概要

- まちなかイルミネーションの三河田原駅周辺への拡大
- 四季を感じられるイベント等の実施
- タウンマネジャーの育成等
- 中心市街地活性化基本構想の作成



魅力的なまちなかイルミネーション

担当課：街づくり推進課 電話：0531-23-3535
メールアドレス：machi@city.tahara.aichi.jp

取組名：福江地区まちづくりの推進

事業費9,436千円 新規・拡充・**継続**

■目的

本市の拠点の一つである福江市街地のレクリエーション活動の場として、都市公園等の整備を行い、生活環境及び安全性等都市機能の向上を図る
あわせて、拠点の市民館を中心に地域活性化を図るための検討及び整備を行う。

■事業概要

福江公園整備工事詳細設計
散策路整備工事詳細設計

■今後の予定

福江公園整備(H27年度～)
散策路等整備



※福江公園完成イメージ図

担当課：街づくり推進課 電話：0531-23-3523
メールアドレス：machi@city.tahara.aichi.jp

取組名： 中央公園整備

事業費90,066千円

新規・拡充・**継続**

■ 目的

将来都市象「うるおいと活力のある
ガーデンシティ」にふさわしい都市機
能の中核をなす公園の形成を目指し、
市民の余暇活動、スポーツレクリエー
ション活動の場として整備を図る。

■ 事業概要

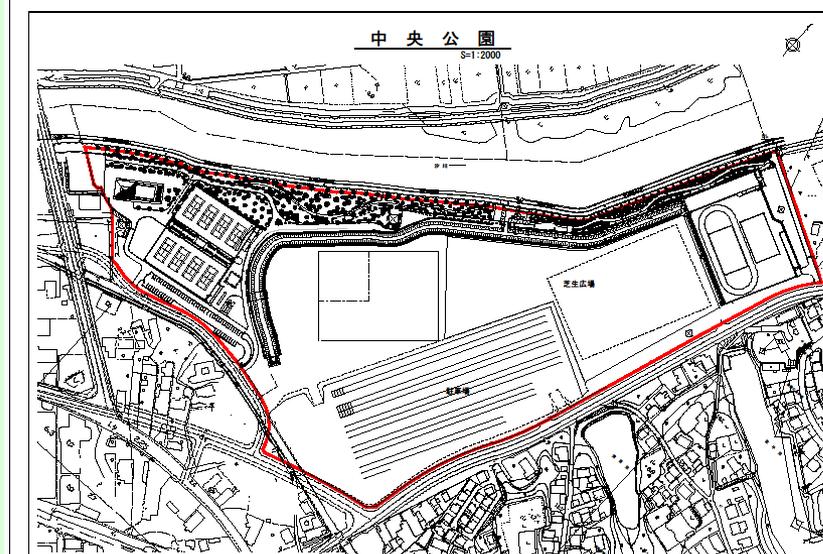
植栽帯の整備

多目的広場の整備等

■ 今後の予定

平成26年2月23日

田原市市民植樹祭開催



第1期(基盤整備)完成イメージ図

担当課: 街づくり推進課 電話(0531)23-3523
メールアドレス: machi@city.tahara.aichi.jp

取組名：新市街地の整備

事業費212,502千円 新規・拡充・継続

■目的

健全な都市基盤の形成を目的に施行される組合施行土地区画整理事業に対し、事業を促進するための組合支援や関連事業を実施する。

■事業概要

市道大原西西畑線道路改良工事
市道丸山緑が浜1号線道路改良工事
公園実施設計業務

■今後の予定等

平成25年4月より保留地販売中
平成26年3月 工事概ね完了
平成26年4月 使用収益開始予定
平成28年度事業完了予定

田原浦片土地区画整理事業



施行者 田原浦片土地区画整理組合
施行地区 浦町、片浜町地内
施行面積 18.74ha
施行期間 平成20～28年度

担当課：街づくり推進課 電話：0531-23-3523
メールアドレス：machi@city.tahara.aichi.jp

取組名：ぐるりんバス運行

事業費117,865千円

新規・拡充・**継続**

■目的

幹線乗合交通が利用できない集落地域から市街地への移動を確保するため、地域・市・交通事業者の協働により、コミュニティ乗合交通(ぐるりんバス、乗合タクシー)を運行する。

■事業概要

○ぐるりんバス運行業務委託

8路線

(童浦線、西部線、中央線、表浜線
高松線、大久保線、赤羽線、中山線)

車両9台

○乗合タクシー運行補助

1路線 (八王子線)

車両1台

市内路線網図



★皆でつくる「ぐるりんバス」



★地域で支える「乗合タクシー」



担当課：市民協働課 電話：0531-23-3504
メールアドレス：kotsubohan@city.tahara.aichi.jp

取組名： 景観ガイドライン策定

事業費12,104千円

新規・拡充・**継続**

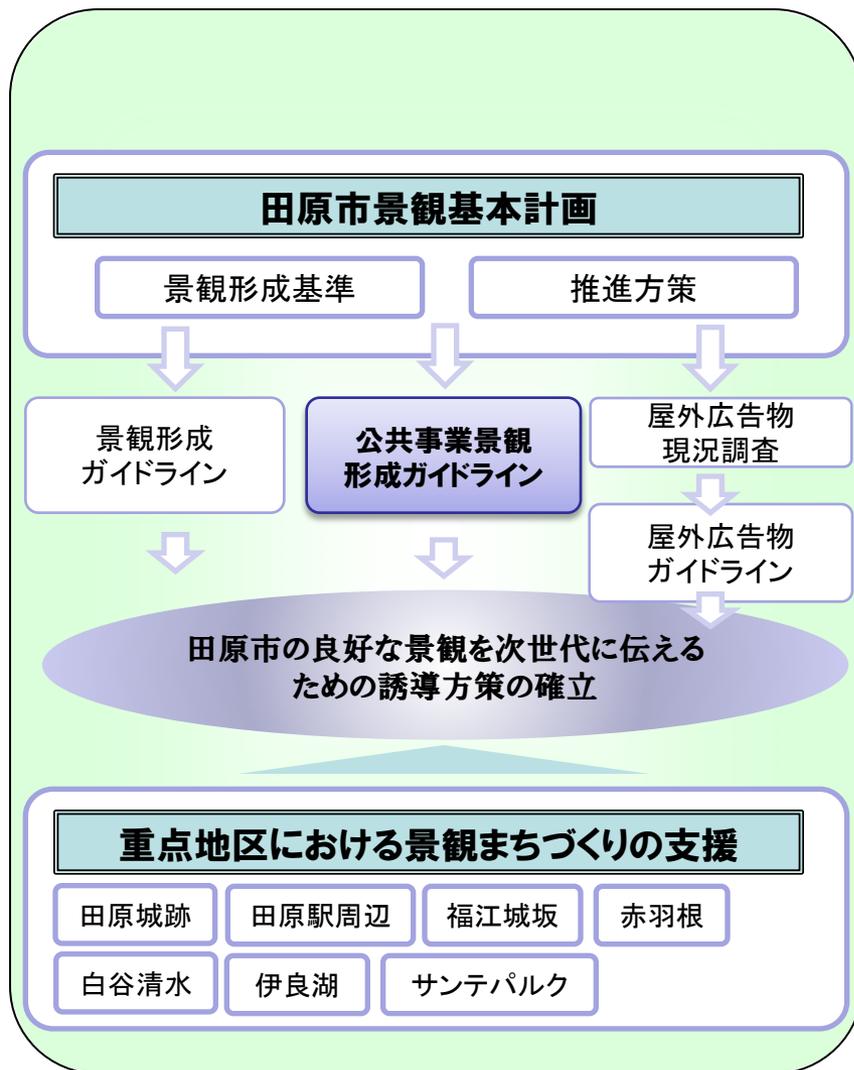
■目的

自然や風土、街の雰囲気などは、市民にとってかけがえのない財産であり、損なうことなく次世代に伝える必要がある。

このため、平成24年度に策定した景観基本計画に基づき、市全域で景観保全に向けた誘導等を行うための具体的な基準を定める。

■事業概要

公共事業景観形成ガイドライン策定
屋外広告物現況調査
景観まちづくり支援



担当課：街づくり推進課 電話：0531-23-3535
メールアドレス：machi@city.tahara.aichi.jp

取組名：少子化・防災に対応した和地小学校改修

事業費 66,905千円

新規・**拡充**・継続

■目的

小規模校の適正化及び災害対応の強化を図るため、和地小学校、堀切小学校、伊良湖小学校を統合。

現在の和地小学校校舎を改修し、平成27年4月に新設小学校を開校する。

■事業概要

- ・和地小学校校舎改修工事
- ・和地小学校校舎増築工事
鉄骨造平屋建 延べ床面積130m²
- ・閉校関連事業など



担当課：教育総務課 電話：0531-23-3530
メールアドレス：kyoikusomu@city.tahara.aichi.jp

事業名： 谷ノ口公園整備

事業費51,325千円

新規・拡充・**継続**

■目的

三河湾国定公園内の豊かな自然の中で快適な野外レクリエーション活動を行える場所を提供するとともに、都市と農村の交流の場として地域の活性化を図る。

※太平洋岸総合整備促進事業のモデル事業として実施。

■事業概要

管理棟(トイレ・シャワー)建設
駐車場整備
園地及び園路の整備

■今後の予定

平成27年5月供用開始予定



完成イメージ

担当課: 街づくり推進課 電話(0531)23-3523
メールアドレス: machi@city.tahara.aichi.jp

取組名：初立池公園整備

事業費20,000千円

新規・拡充・継続

■目的

ため池とのふれあい、展望、水辺の自然を訪れる人々に提供するため、初立池耐震補強工事にあわせて、老朽化した親水デッキを改修する。

■事業概要

親水デッキ改修工事

1ヶ所 272㎡



改修する親水デッキ(初立池公園)

担当課：地域課

電話：0531-33-1118

メールアドレス：chiiki@city.tahara.aichi.jp